

SOLDERING IRON UNIT

HF-600

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本製品は自動機用はんだこてです。

お使いになる前に必ず本書をお読みにになり、その後はお手元で大切に
保管してください。

目 次

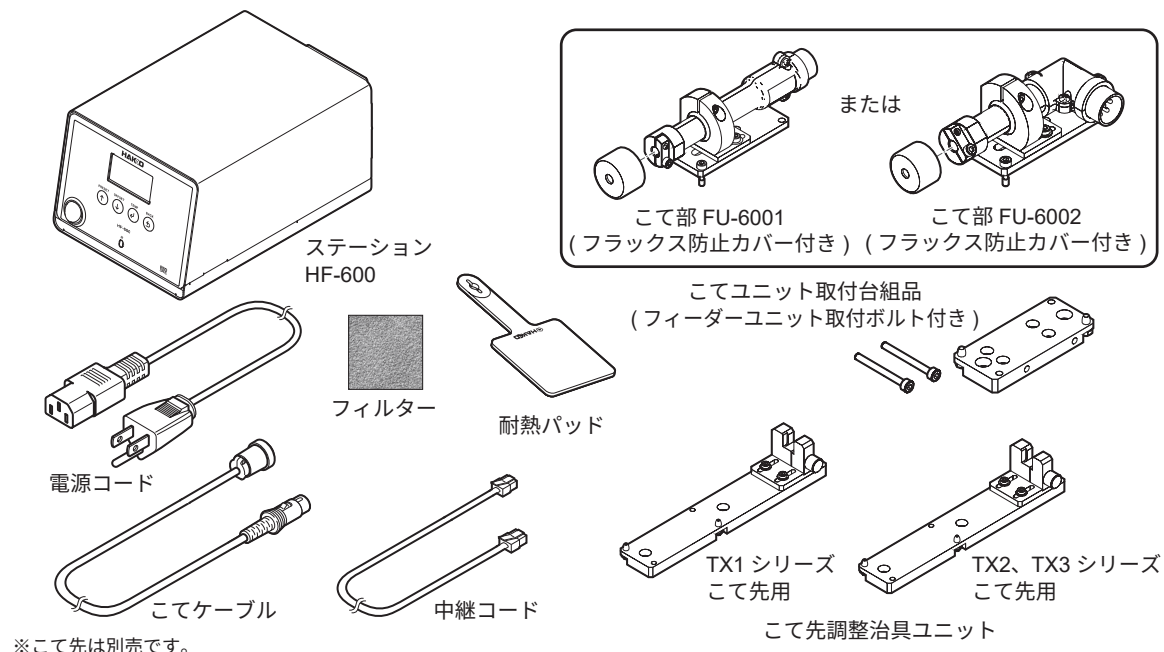
1. セット内容	2
2. 仕様	2
3. 安全および取扱い上のご注意.....	3
4. 各部名称	4
5. 組立て	6
6. 使用方法	10
6-1. ステーション	10
6-2. 操作方法	10
7. パソコンを接続してできること	12
7-1. 動作環境	12
7-2. ソフトウェアのダウンロード (オンライン).....	12
8. パラメータ設定	13
9. メンテナンス	19
10.トラブルシューティング	21

1. セット内容

最初にセットの内容をご確認ください。
※本製品は下記内容と異なる場合があります。

ステーション HF-600	1
※こて部 FU-6001 / FU-6002 (フラックス防止カバー付き)	1
こてユニット取付台組品 (フィーダーユニット取付ボルト付き)	1
こて先調整治具ユニット (TX1 シリーズこて先用)	1
こて先調整治具ユニット (TX2 / TX3 シリーズこて先用)	1

こてケーブル (5 m)	1
中継コード	1
電源コード	1
耐熱パッド	1
フィルター	1
取扱説明書	1
保証書	1



交換部品／オプションを含む製品情報は web ページでご確認いただけます。
https://www.hakko.com/doc_hf600-j

2. 仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	460 W
設定温度 範囲	50 ~ 500°C
リップル 温度	無負荷時 ±5°C (9°F)

ステーション部

出力	AC 30 V
外形寸法	140 (W) × 111 (H) × 212 (D) mm
重量	4 kg

こて部

消費電力	390 W (29 V)
こて先アース間抵抗	<2 Ω
こて先アース間電位差	<2 mV
コード長さ	5 m
全長※1、※2	197 mm (171 mm ※3)
重量※1	133 g (135 g ※3)
	172 g (174 g ※3) (含こてユニット取付台)

※1 こて先 TX3-XD4 型をつけた場合

※2 寸法は ±5 mm の範囲で調整可能です。

※3 こて部 FU-6002 の値です。

- 全長と重量はコードを除きます。
- 本製品は静電気対策されています。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

2. 仕様 (つづき)

注意

■ 静電気対策品への取扱い注意

本製品は静電気対策が施されていますので下記の注意を厳守してください。

1. プラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行ってください。
2. 必ず接地して使用してください。

3. 安全および取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。注意事項の内容をよく理解されてから本文をお読みください。

 **警告** : 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** : 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注記 : 説明中の工程で重要な手順や事項を示しています。

安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

警告

- 管理責任者の許可なく、経験や知識のない者（子供を含む）が、本製品を使用しないように注意してください。
- 子供が本製品で遊ばないようにしてください。
- 清掃および使用者による保守を監督なしに子供に行わせないでください。
- 電源を入れると、こて先の温度は高温に達します。取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので注意してください。
- こて先周辺の金属部に触れないでください。
- 燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 周囲の人に「高温につき危険である」ことを知らせてください。
- 使用しない時や修理・清掃の前は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用を中断・終了する時や、その場を離れる時は電源を切ってください。

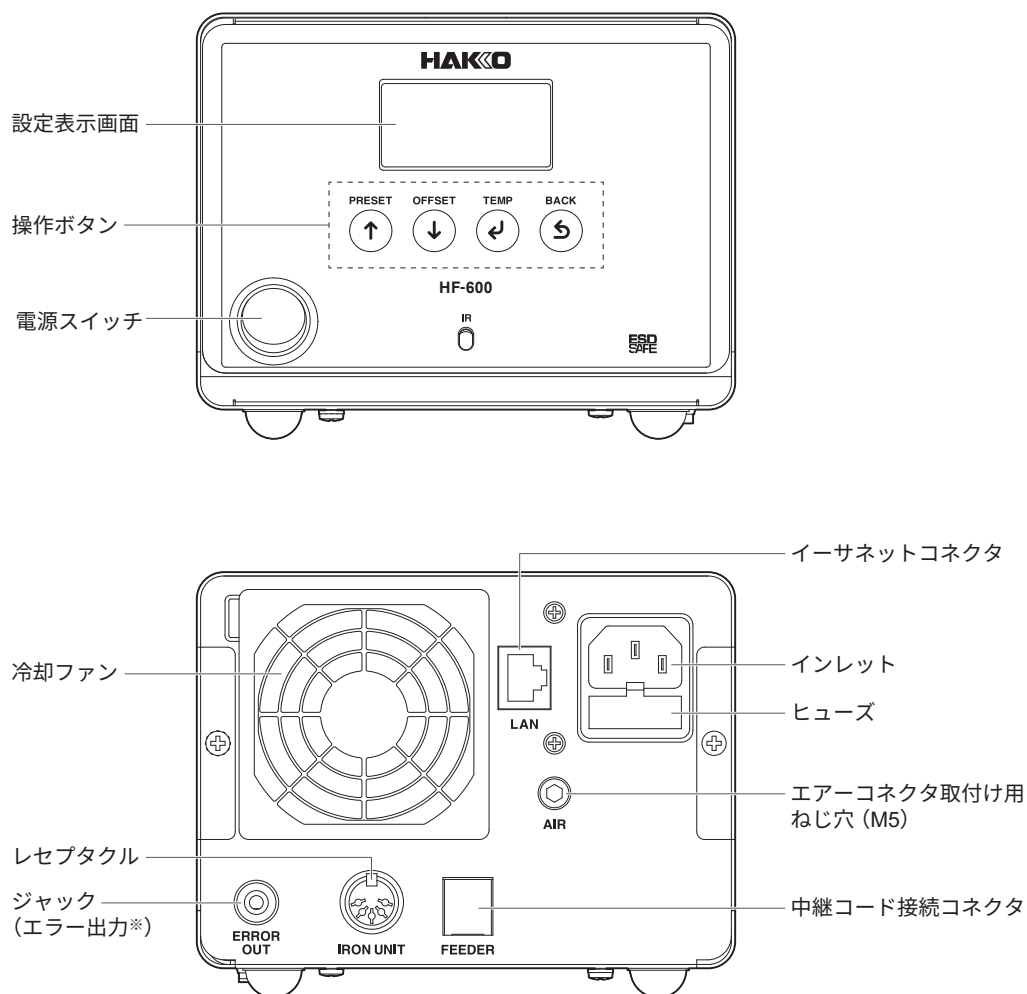
感電や故障等の恐れがありますので以下の注意事項を必ず守ってください。

注意

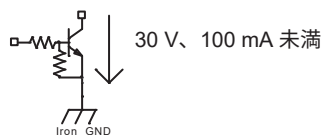
- 本製品を使用する前に、全ての説明をお読みください。
- はんだ付け以外の用途で使用しないでください。
- はんだこてに過度の衝撃を与えないでください。
- はんだ付けする際、煙が発生しますので、よく換気をしてください。
- ステーションの吸気口・排気口はふさがないでください。
- ステーションからこて部の接続コードを抜き差しする時は、電源を切った状態で行ってください。電源が入ったまま行くと基板が破損する可能性があります。
- 付属品／交換部品／オプションは純正部品を使用してください。
- 本製品を改造しないでください。
- 損傷したコードやプラグを使用しないでください。誤動作や事故の原因になります。
- 落下またはその他の原因で破損した場合は本製品を使用しないでください。
- プラグの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 本製品を濡らさないでください。また、濡れた手で使用しないでください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

4. 各部名称

●ステーション



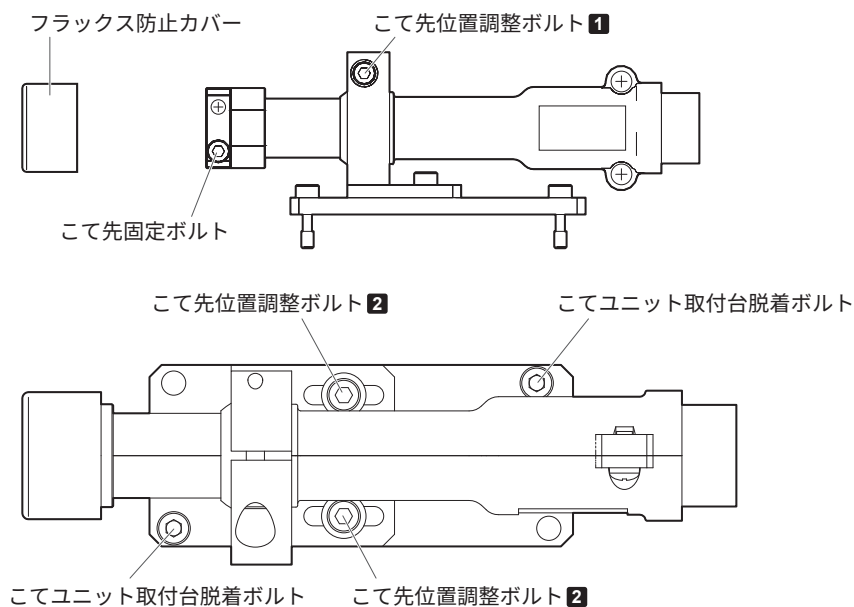
※エラー出力 (Error out) 回路



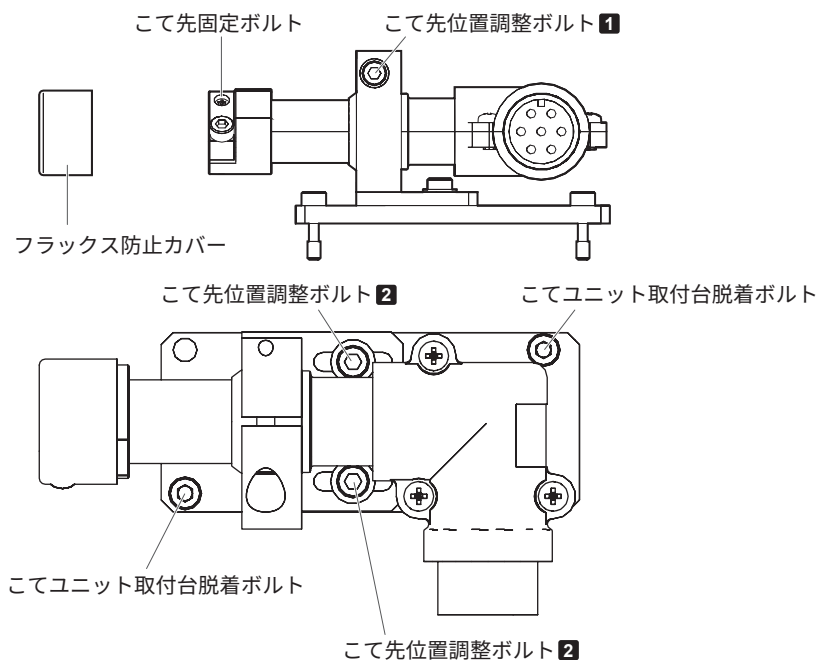
4. 各部名称 (つづき)

● こて部

FU-6001



FU-6002



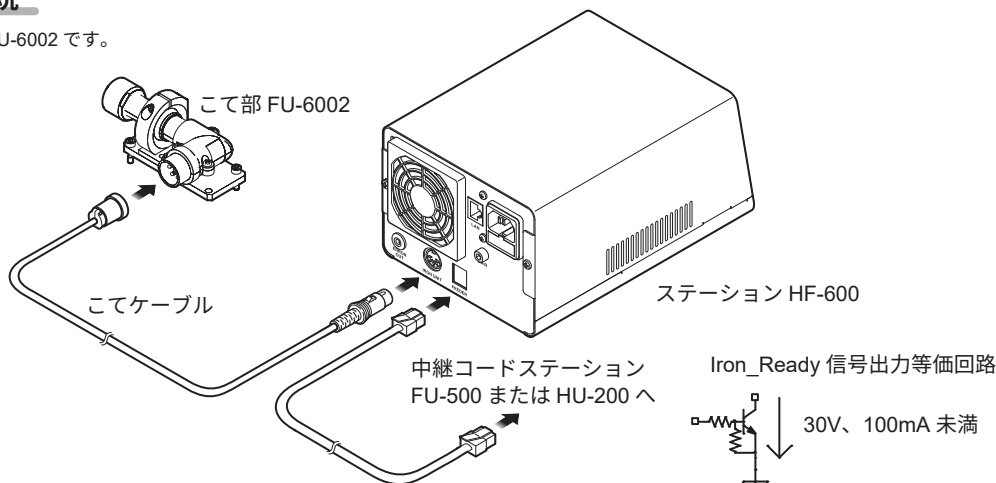
⚠ 注意

本書に記載の六角穴付ボルト以外は触らないでください。また、ボルトは締め付けすぎないようにご注意ください。

5. 組立て

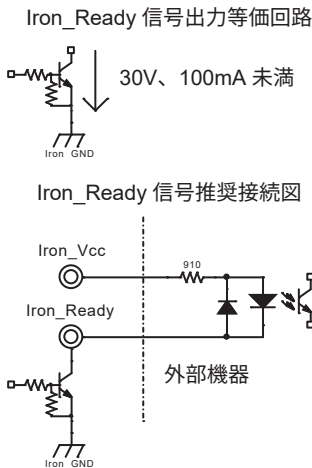
各部の接続

※イラストはFU-6002です。



中継コード (6 極 6 芯モジュラーケーブル)

ピン No.	信号名	I / O	機能
1	TxD	Out	送信データ
2	RxD	In	受信データ
3	Iron_Ready	Out	ステーションレディ信号
4	Iron_GND		ステーション GND
5	Iron_GND		
6	Iron_Vcc	Out	ステーション Vcc (5 V)



■外部エアー接続方法

外部エアーを使用する場合は、ファンを止めてください。(「8. パラメータ設定」を参照)
背面 AIR にエアーコネクタ (M5) を取り付けてください。流量が 20 / Lmin 以上になるように調節してください。

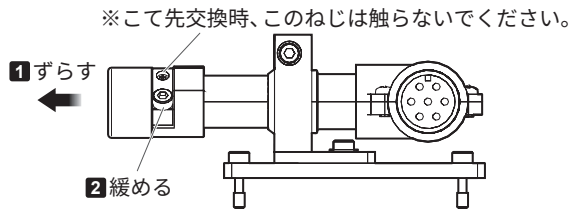
注記 流体には空気を用い、必ずエアーフィルターを通して、ホコリ・水分・油分を取り除いてください。

■こて先装着方法

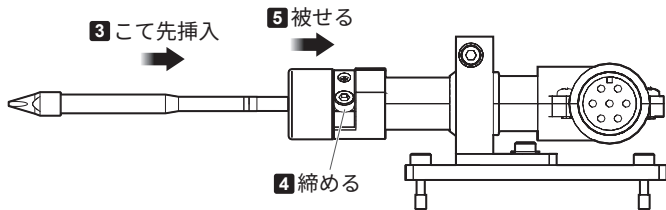
⚠ 注意

こて先の交換は冷えてから行ってください。熱い状態のまま交換する際は、必ず耐熱パッドをご使用ください。

- (1) フラックス防止カバーをずらし、こて先固定ボルトを緩めます。



- (2) こて先を挿入した後、こて先固定ボルトを締めフラックス防止カバーを被せます。



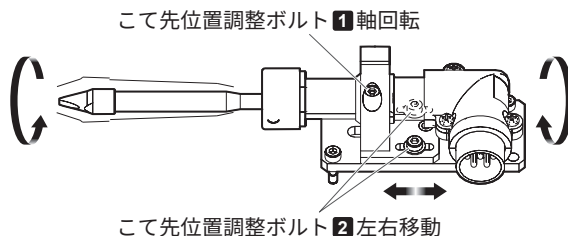
⚠ 注意

こて先とフラックス防止カバーの穴にすき間がないことを確認してください。

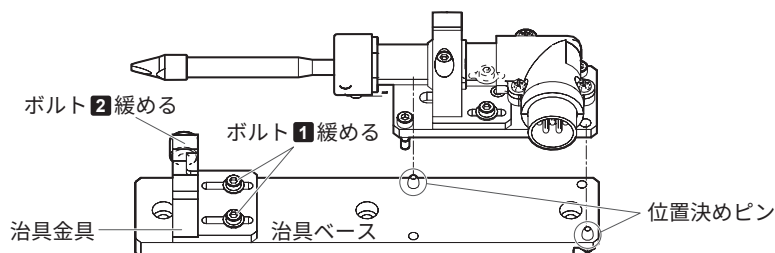
5. 組立て (つづき)

■こて先位置決め方法

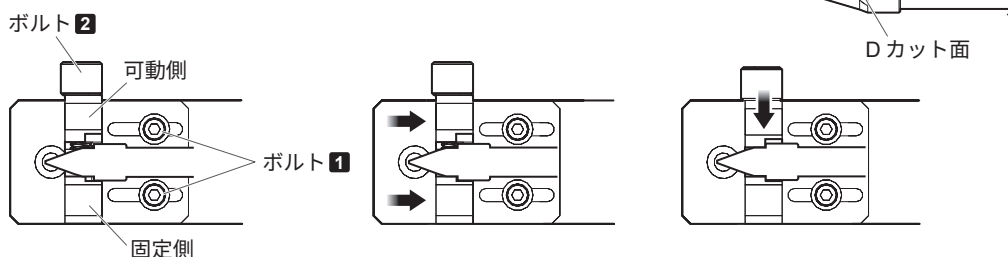
- (1) 下図のこて先位置調整ボルトを緩めると**1**は軸回転、**2**は左右に動かすことができます。対象となるワークに対し移動させ、こて先位置を決めた後に各ボルトを締めます。



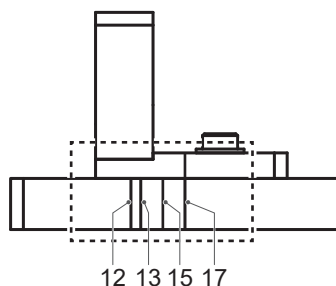
- (2) 下図のボルト**1**と**2**を緩め、こて先調整治具ユニットの位置決めピンに合わせてこて部 FU-6001 / FU-6002 を載せます。



- (3) こて先の D カット面を、治具金具の固定側の窪みに合わせ下図のようにぴったりはまるように治具金具を移動させます。この位置が基準点となりますので、ボルト**1**を2箇所締め直します。その後こて先が浮いてずれないように、上から押さえながらボルト**2**を締めてください。ワークが変わらない限り可動側以外、治具金具を動かさないでください。基準点決定後、こて先調整治具ユニットから取り外してください。

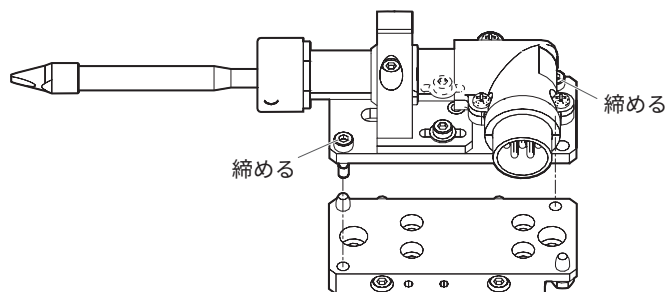


- ※ こて先調整治具ユニットには側面にマーキングが入っています。こて先先端は 12 mm、13 mm、15 mm、17 mm の寸法に分かれています。このマーキングを目安に治具金具の位置調整を行ってください。



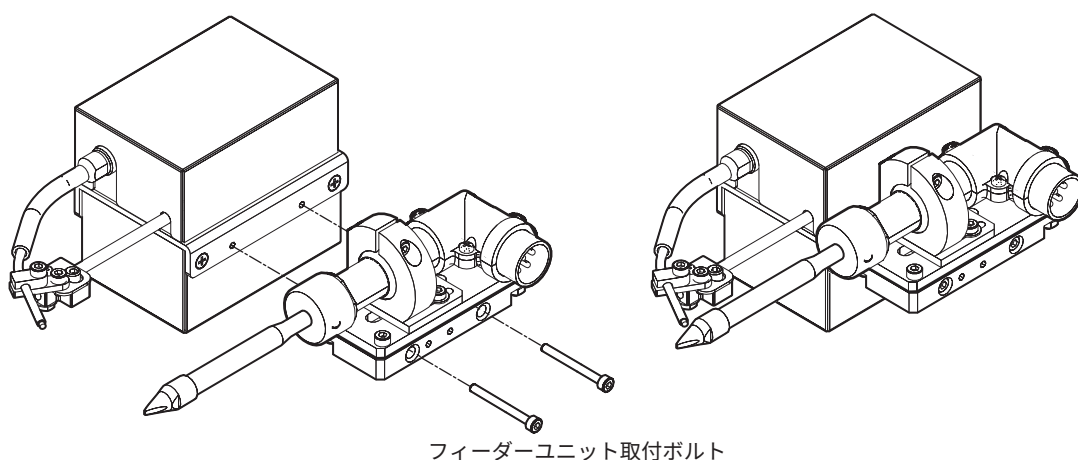
- 12 mm : TX1 シリーズ
13 mm : TX2-XD4、TX2-XD6、TX3-XD4、TX3-XD6 など
15 mm : TX3-XD3、TX3-XBCR3 など
17 mm : TX2-XD3、TX2-XBCR3 など

(4) こてユニット取付台組品に載せ、ボルトを 2 箇所締めます。



■フィーダーユニットへの取付け

フィーダーユニット取付ボルトを下図のように締めると、こて部 FU-6001 / FU-6002 をフィーダーユニットへ取り付けることができます。

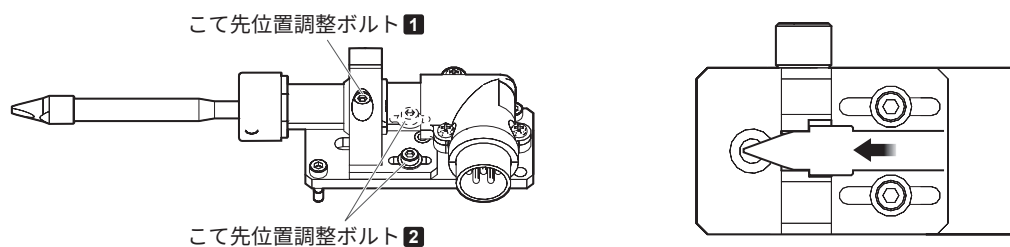


■こて先交換時の位置調整方法

こて先を交換する際は、こて先の位置調整が必要です。

こて先位置調整ボルト **1** と **2** を緩め、前ページにて決定した基準点にこて先が合わさるよう調整し、こて部 FU-6001 / FU-6002 を移動させます。

この時こて先が浮いてずれないように、上から押さえながらこて先位置調整ボルトを締め直してください。

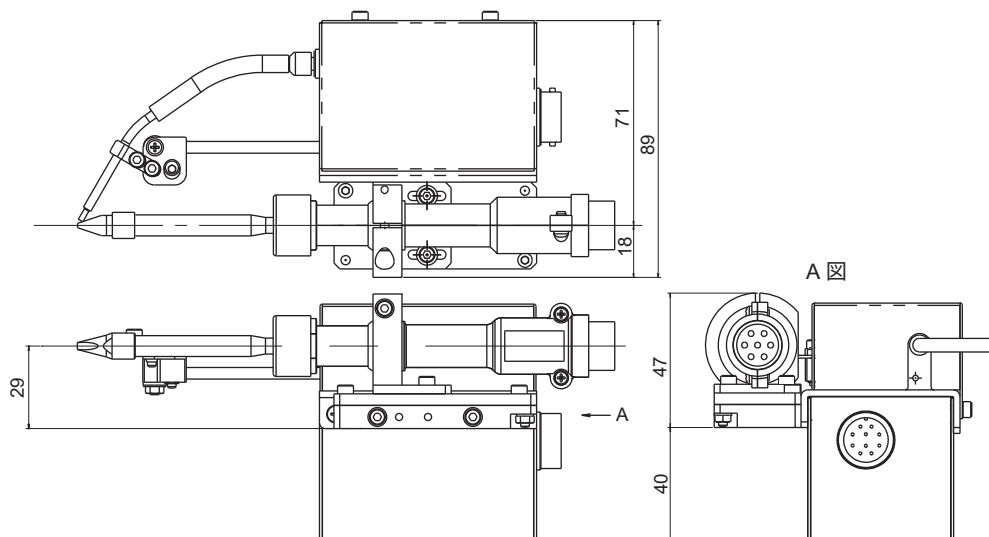


5. 組立て (つづき)

■外形図

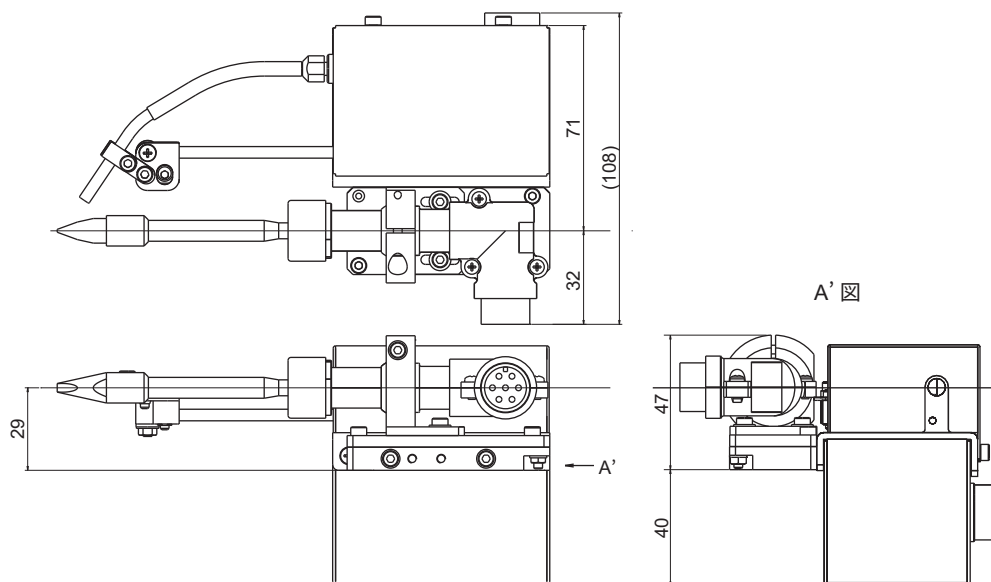
FU-6001

フィーダーユニット取付け時

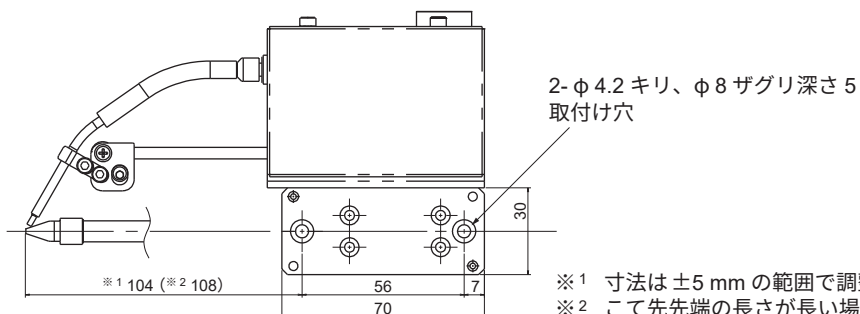


FU-6002

フィーダーユニット取付け時



こてユニット取外し時



※1 寸法は±5 mm の範囲で調整可能です。
 ※2 こて先先端の長さが長い場合の寸法です。

6. 使用方法

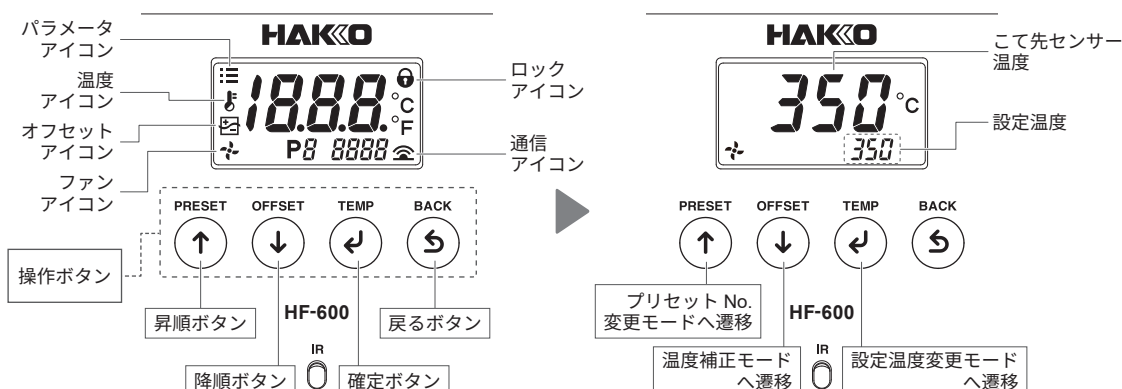
6-1. ステーション

こて先をこて部に挿入し、電源スイッチを ON にすると、下記の順に表示が変わります。

表示	内容
こて先センサー温度 350 °C 出力モード [P] / [n] こて先の種類 P t3	こて先の種類 挿入したこて先の種類を自動で認識し、表示します。 T1：TX1 シリーズこて先 T2：TX2 シリーズこて先 T3：TX3 シリーズこて先 出力モード 工場出荷時はパワー [P] に設定しています。 大きな熱量を必要とするワークにはパワー [P] が有効です。 温度に敏感なワークにはノーマル [n] が有効です。 (「パラメータ No. 12」を参照)
P t3 (P T3)	
350 (350)	設定温度 (「6-2. 操作方法」を参照)

6-2. 操作方法

電源を入れると以下のようにディスプレイが遷移します。



■設定温度の変更

TEMP ←を押す	このボタンを1回押すと【♫】マークが表示され、「設定温度変更モード」へ遷移します。 このモードは設定温度を変更するときに使います。
--------------	--

▼ 400°C に変更する場合



💡 通常画面になってから ↑ ボタンを押すとプリセット No. 変更モードへ遷移します。

6. 使用方法 (つづき)

■プリセット No. の変更

本製品はよく使う設定温度を 6 つ登録し、その登録 No. を選ぶことで設定温度を変更します。

PRESET ↑ を押す	このボタンを 1 回押すと「プリセット No. 変更モード」へ遷移します。 このモードは登録した 6 つの温度のうち、いずれかを選択します。 (工場出荷時の設定温度 P0 300°C (570°F)、P1 350°C (670°F)、P2 375°C (710°F)、 P3 400°C (750°F)、P4 450°C (850°F)、P5 500°C (930°F))
----------------------------	---

▼ P3 (400°C) に変更する場合



注記 各プリセット No. の登録温度は「パラメータ No. 23」で変更できます。
(「8. パラメータ設定」を参照)

注記 設定温度の変更を制限したい場合は「パラメータ No. 14」の設定を変更します。
(「8. パラメータ設定」を参照)

■こて先温度の補正 (オフセット)

OFFSET ↓ を押す	このボタンを 1 回押すと [E] マークが表示され、「温度補正モード」へ遷移します。 このモードは設定温度とこて先温度の測定値が違う場合、温度を補正することができます。 (補正範囲：± 50°C / ± 90°F)
----------------------------	---

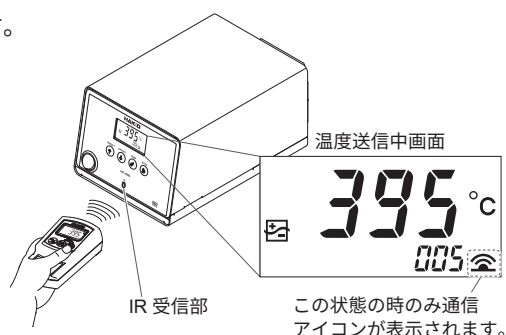
▼ 設定温度 400°C / 実測値 395°C で補正温度が 5°C の場合



※補正範囲を超える温度は入力できません。

💡 こて先が劣化してくるとこて先温度が低くなりがちです。
こて先を交換してもこて先温度が変わりますのでオフセット値の再調整が必要です。実測したこて先温度に合わせ、こまめにオフセット値を変更してください。

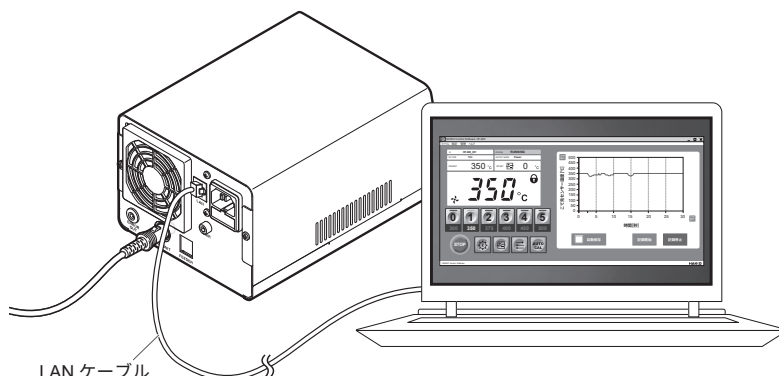
💡 ハッコーの温度送信機能付きのこて先温度計ならオフセット値を自動で変更できます。「温度補正モード」に遷移してから温度計の測定値を送信してください。
(右図参照)



7. パソコンを接続してできること

ソフトウェアをインストールすると以下のことが可能となります。

- パソコンでパラメータの設定値を変更する
- パラメータの設定を CSV ファイルで保存する
- 保存したパラメータの設定を別の機器に複製する
- 自動校正結果を CSV ファイルで保存する
- 保存した自動校正結果を「日付」や「直近の履歴件数」で検索し、その結果をグラフ表示する
- こて先センサー温度をグラフでモニターし、その履歴を CSV ファイルで保存する
- ヒーターへの通電を停止する



7-1. 動作環境

対応 OS	Windows10、Windows11 (ARM 版 Windows は除く)
CPU	1 GHz 以上のプロセッサまたは SoC (ARM プロセッサは除く)

対応 OS は 2025 年 3 月のもので、変更する場合があります。
最新のバージョンは白光 web サイトでご確認いただけます。

7-2. ソフトウェアのダウンロード (オンライン)

- (1) 白光 web サイトの[カスタマーサポート／サポート & サービス／ログイン・新規ユーザー登録]へアクセスします。



https://www.hakko.com/doc_support-j

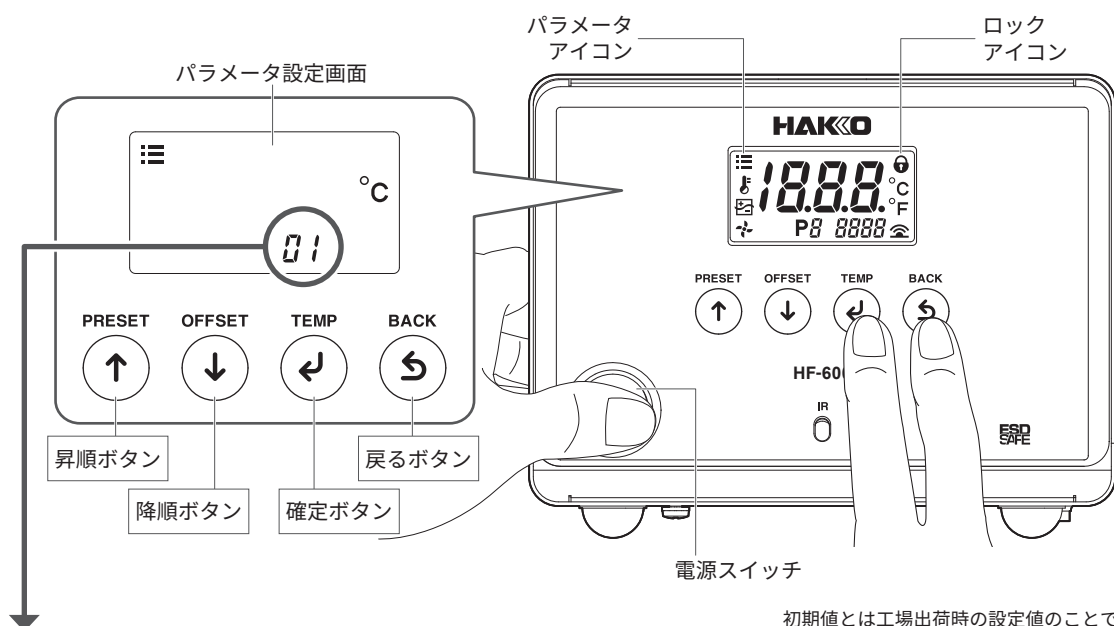
- (2) ページに記載されている手順に従ってユーザー登録を行います。
ユーザー登録が完了するとマイページができます。
- (3) [マイページ (製品登録はこちら)] をクリックして製品登録を行います。

注記 製品の登録まで行わないとソフトウェアはダウンロードできません。

- (4) ページ右上にあるメニューの [製品資料ダウンロード] をクリックします。
- (5) 各種資料検索の [ソフトウェア] を選択します。
- (6) キーワードに製品名を入力します。
- (7) 言語を選択したら [この条件で検索する] をクリックします。
- (8) 検索結果の [ダウンロード] をクリックします。

ソフトウェアのインストール方法／操作方法は、ダウンロードデータ内の
マニュアルをご確認ください。

8. パラメータ設定



初期値とは工場出荷時の設定値のことです。

パラメータ No.	パラメータ名／概要	設定値	初期値／手順 No. 25 を実施時の値です。
01	表示温度単位 °C または °F のいずれかを選択します。 ●全ての設定値が変更した表示温度単位に変換されます。	°C / °F	 (USA 向け : °F)
03	下限温度エラー はんだ付け作業時、こて先温度が下がったらブザー音でお知らせする機能で、その時の下がり幅を設定します。 ●このブザー音は消すことはできません。	30 ~ 300°C 50 ~ 540°F	 (°F : 540)
05	エラーアラーム音： 有効 [On] / 無効 [OFF] の設定 はんだこてエラー [C - E]、およびセンサーエラー [S - E] 時にブザー音でお知らせします。 不要な場合は [OFF] を選択します。	On / OFF	
06	設定温度到達音： 有効 [On] / 無効 [OFF] の設定 こて先が設定温度に到達した時にブザー音でお知らせします。 不要な場合は [OFF] を選択します。	On / OFF	
12	出力モード： パワー [P] / ノーマル [n] の設定 大きな熱量を必要とするワークにはパワー [P] が有効です。 温度に敏感なワークにはノーマル [n] が有効です。	P / n	

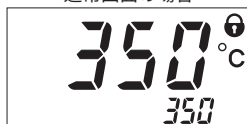
- (1) ⏪と⏩を押しながら電源を ON にします。
- (2) ⏶または⏷でパラメータ番号を選びます。
- (3) ⏪を押します。
- (4) ⏶または⏷で設定を変更します。
- (5) ⏪を押します。
- (6) ⏩を押します。
- (7) 通常画面に戻ります。



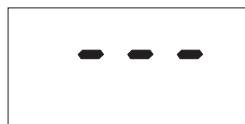
お知らせ

- 設定途中で電源 OFF にすると変更内容が失われる場合があります。
- No. 14 でパスワードを設定すると通常画面にロックアイコンが表示され、パラメータの設定画面へ遷移する前に、パスワードを要求されます。パスワードが分からなくなった場合は購入された販売店へご連絡ください。

通常画面の場合



ロック
アイコン



ここでパスワードを入力すればパラメータ設定画面へ遷移します。

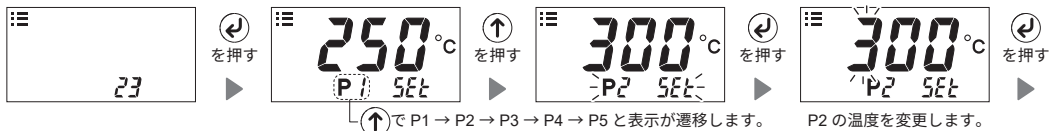
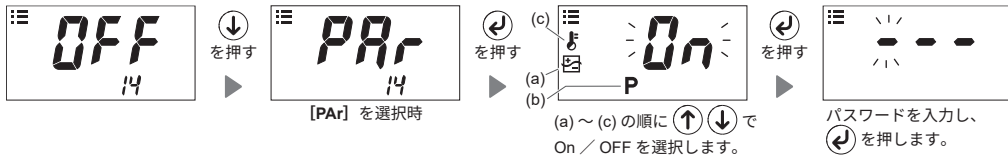
規定の温度範囲で作業したい時に便利です。

設定温度 350°C で 320 ~ 350°Cの間ではんだ付けしたい時は No. 03 の設定値を [30] に変更し、はんだ付け作業を開始してください。作業中にこて先センサー温度が 320°C 未満になった場合、ブザー音でお知らせします。
上限は設定温度で制限します。

8. パラメータ設定 (つづき)

パラメータ No.	パラメータ名／概要	設定値	
14	パスワードロック：有効 [On] ／無効 [OFF] の設定 <i>RbCdEF</i> の 6 文字、3 桁の組合せで変更範囲を制限します。 ・ [OFF] を選択 全てをロックしない ・ [On] を選択.....全てをロックする ・ [PAr] → [Ⓔ] を選択.....オフセット温度の変更をロック ・ [PAr] → [P] を選択.....プリセット温度の選択をロック ・ [PAr] → [Ⓜ] を選択.....[TEMP] ボタンでの温度変更をロック	OFF On ※ PAr ※ ※選択時は通常画面の右肩に ロックアイコン [Ⓜ] が表示 されます。	
23	プリセット温度：各登録温度の変更 よく使う設定温度を 6 つ登録できます。 この機能で設定温度変更時の手間を省きます。 ・ 初期値： P0 300°C (570°F)、P1 350°C (670°F)、P2 375°C (710°F)、 P3 400°C (750°F)、P4 450°C (850°F)、P5 500°C (930°F)	50 ～ 500°C 120 ～ 940°F (ステーションの設定温度範囲 と同じ)	
32	レディ信号・遅延時間 ステーションがレディ (こて先温度が設定温度に到達) になってから、 Iron Ready 信号 ON になるまでの遅延時間を設定できます。	0 ～ 60 秒	
33	ケーブル長さ設定 こてケーブルは標準品の 5m 以外に、3m ／ 8m 仕様のものがあります。 使用するこてケーブルの長さを選択します。	3 m ／ 5 m ／ 8 m	
34	ファンの使用：有効 [On] ／無効 [OFF] の設定 工場エア使用時はファンを停止します。 不要な場合は [OFF] を選択します。	On ／ OFF	
35	ネットワーク設定 1 パソコンと接続する際のネットワーク設定です。 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。 ※ 設定の際には、ネットワーク管理者に相談してください。	IP アドレス	
		サブネットマスク	
		ゲートウェイアドレス	
36	ネットワーク設定 2 パソコンと接続する際のネットワーク設定です。 DNS サーバーアドレスを設定します。 ※ 設定の際には、ネットワーク管理者に相談してください。	DNS サーバーアドレス	

[PAr] 選択時の手順



8. パラメータ設定 (つづき)

パラメータ No.	パラメータ名／概要	設定値	
37	通信プロトコル設定 通信方式を設定します。 通常は [Std] で使用してください。 [601] は FU-601 外部出力付き仕様のための設定です。	Std / 601	
40	通電停止設定：有効 [On] / 無効 [OFF] の設定 HU-200 やアプリからのヒーター通電停止機能が有効 [On] か無効 [OFF] かを設定できます。 不要な場合は [OFF] を選択します。	On / OFF	
25	イニシャルリセット 全ての設定が購入時の状態（初期値）に戻ります。	°C / °F	

初期値／手順

Std
37



601
37

On
40

25



25 °C

°C 選択時



45.5 °C
25



188.8 °C
P8 8888

350 °C
350

9. メンテナンス

⚠ 警告

本機は高温となりますので、作業には十分ご注意ください。また特に指示のない限り、電源スイッチを切り、電源コードを抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 内部点検や部品交換の前に、電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- こて先に付着した酸化物をやすりがけで除去しないでください。こて先の寿命を早めます。
- シンナーなどの溶剤は樹脂部が溶ける恐れがありますので絶対に使用しないでください。

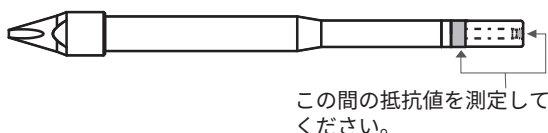
メンテナンスを実施することで製品を長く、より良く使っていただけます。

■点検

●こて先の点検

ヒーター／センサーの間の抵抗値を測定し、異常な場合はこて先を交換してください。
正常な抵抗値は以下の通りです。

TX1：4.0 Ω ± 10%（室温） TX2：3.4 Ω ± 10%（室温） TX3：2.0 Ω ± 10%（室温）



●アースラインの点検

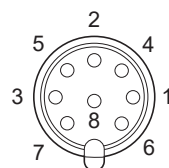
こてケーブルのプラグをステーションから外します。FU-6001 / FU-6002 とこてケーブルが接続された状態で抵抗値を測定してください。

ピン2とこて先の間 正常な抵抗値は、<2 Ω（室温）です。

異常の場合はこて先のメンテナンスを行ってください。

それでも下がらない場合はこてケーブルの断線を調べてください。

こてケーブルのプラグ



●こてケーブルの点検

コネクタのピンの抵抗値を測定してください。

ピン1とピン3の間 正常な抵抗値は、3.0 ～ 3.8 Ω（室温）です。

異常の場合は、こてケーブルの交換が必要です。

購入された販売店へご連絡ください。

■日常のメンテナンス

設定温度	必要以上に高い温度でのご使用は、こて先の劣化を早め、熱に弱い部品にダメージを与えることがあります。常に可能な限り低い温度で使用してください。
作業前	目視でこて先の状態を確認してください。変形していたり、消耗が激しかったりする場合は交換します。こて先に酸化物や古いはんだがある場合はクリーニングしてください。基板上に不純物が混入するとはんだ付け不良の原因になります。
作業中断時	こて部を高温に設定したまま長時間放置すると、こて先が酸化します。長時間使用しない時は電源スイッチを切ります。
作業終了後	こて先をクリーニングして先端に新しいはんだを覆ってください。こて先の酸化を防ぎます。

■定期のメンテナンス

●こて先

使用する温度や、はんだ・フラックスの質・量によってこて先の消耗の度合いが違います。使用状況に応じてメンテナンスを行ってください。

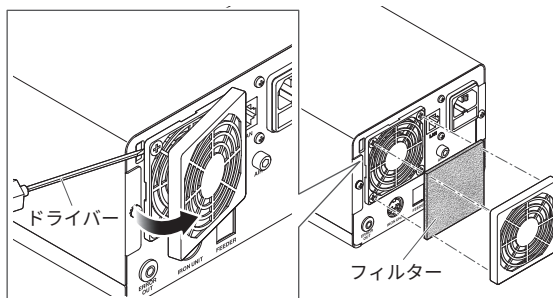
- (1) 電源を ON にします。
- (2) 温度を 250°C (482°F) に設定します。
- (3) 温度が安定したらクリーニングを行います。
- (4) はんだめっき部に黒い酸化物が付着している場合は、フラックス含有の新しいはんだを送り、クリーニングします。酸化物が除去できるまで繰り返し行います。その後、新しいはんだで覆います。
- (5) 電源を切り、冷めてからこて先を外します。こて先の先端以外にフラックスや異物が付着している場合は工業用アルコールでふき取ります。

●吸気口用フィルター

吸気口のフィルターが目詰まりしていないか確認してください。目詰まりが起るとステーション内部の温度が上がり、故障の原因となります。

⚠ 注意

フィルター交換時は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。



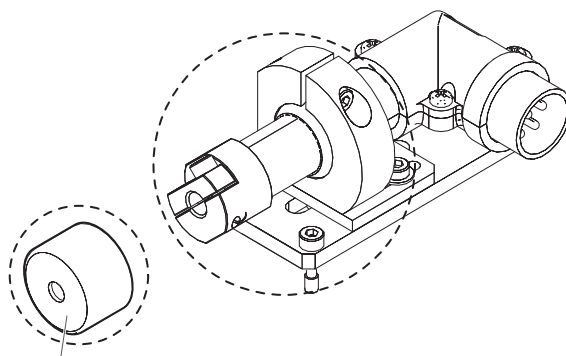
●こて部

フラックス防止カバーの穴付近に付着したフラックスや異物を除去してください。

こて部の内部で接点不良が起きる場合があります。

工業用アルコールを使用し定期的にふき取りを行ってください。

フラックス防止カバーをふき取っても汚れが落ちない場合や、変形している場合は交換してください。



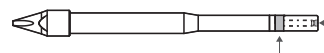
フラックス防止カバー
品番：BX1027

10. トラブルシューティング

⚠ 注意

内部点検や部品交換の前に、電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを入れても動作しない。	電源コードまたは接続プラグが外れていませんか？	▶ 電源コードまたは接続プラグを本体に接続してください。
	ヒューズが切れていませんか？	▶ ヒューズを交換してください。 再びヒューズが切れる場合には、本体（こて部／電源コードを含む）を修理に出してください。
[AHE] が表示される。	こて先の温度上昇に異常が発生しています。	▶ 電源スイッチを切り、こて先を十分に冷ましてから、電源スイッチを入れ直してください。 それでも解消しない場合はこて先を交換してください。
[C - E] が表示される。	適用外のはんだこてを接続していませんか？またはこて部のプラグが外れていませんか？	▶ 電源スイッチを切り、こて部を接続し直し、電源スイッチを入れます。
[H - E] が表示される。	ワークに対してこて先が小さすぎませんか？	▶ もっと熱容量の大きいこて先を使用してください。
	下限設定温度エラーの設定値が低すぎませんか？	▶ 設定値を大きくしてください。
[HSE] が表示される。	こて先は純正の適用こて先ですか？	▶ 電源スイッチを切り、純正の適用こて先を挿入し、電源スイッチを入れ直してください。 それでも解消しない場合はこて先を交換してください。
[S - E] が表示される。	こて先はしっかり差し込まれていますか？	▶ こて先をしっかりと差し込んでください。 (過度な力を加えないでください)
	こてケーブルが断線していませんか？	▶ コネクタのピン1とピン3の間の抵抗値を測定してください。正常な抵抗値は、3.0 ~ 3.8 Ω (室温) です。 異常の場合は、こてケーブルを交換してください。
	ヒーター／センサーが切れていませんか？	▶ ヒーター／センサーの間の抵抗値を測定し、異常な場合はこて先を交換してください。正常な抵抗値は以下の通りです。 (「9. メンテナンス」の「■ 点検」を参照) TX1 : 4.0 Ω ± 10% (室温) TX2 : 3.4 Ω ± 10% (室温) TX3 : 2.0 Ω ± 10% (室温)



この間の抵抗値を測定してください。

[t - E] が表示される。	本製品の適用こて先を使っていますか？	▶ TX1 / TX2 / TX3 シリーズのこて先に交換してください。
[---] が表示される。	本体が故障しています。	▶ 購入された販売店にご連絡ください。
こて先にはんだがのらない。	こて先の設定温度が高すぎる、または低すぎませんか？	▶ 適正温度に設定してください。
	こて先に酸化物が付着していませんか？	▶ 酸化物を取り除いてください。 (「9. メンテナンス」を参照)
こて先温度が高すぎる。	こてケーブルが断線していませんか？	▶ 異常がある場合は交換してください。 (「9. メンテナンス」を参照)
	オフセット値は正しいですか？	▶ 温度を測定し、正しい値を入力してください。 (「6-2. 操作方法」の「■ こて先温度の補正 (オフセット)」を参照)
こて先温度が低すぎる。	こて先に酸化物が付着していませんか？	▶ 酸化物を取り除いてください。 (「9. メンテナンス」を参照)

本書でご確認いただいた対処を行っても解決しない、またはその他問題点が発生した場合は購入された販売店へご連絡ください。



白光株式会社

<https://www.hakko.com>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

© 2025-2026 HAKKO Corporation. All Rights Reserved.
その他の会社名と製品名は各社の商標または登録商標です。

2026.08
80.1074-003